



REDMINE

JAPAN vol.2

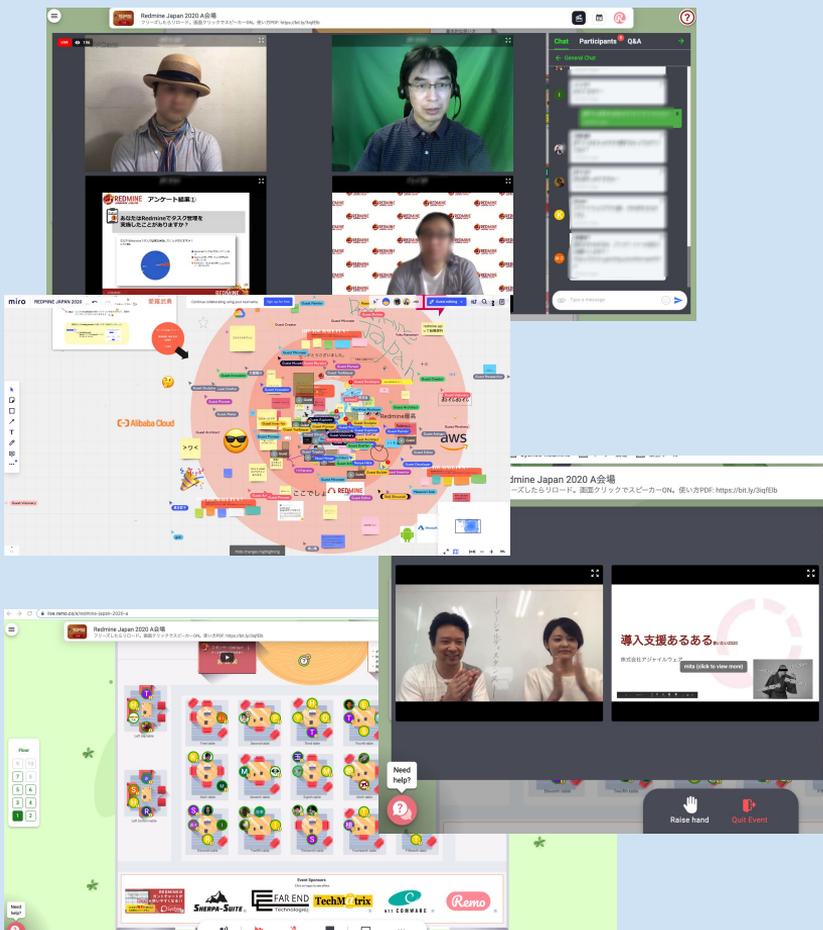
～明日の仕事を変えるために必要なモノ～

スポンサー募集要項
Sponsorship Prospectus

2022.02.25(金) オンライン開催

◆主催◆
REDMINE JAPAN 実行委員会

Redmine Japanについて



Redmine Japanは、

オープンソースの無料利用できるプロジェクト管理ツール『Redmine』に関するカンファレンスイベントになります。

第二回目の今回は、セッション以外にも、幅広い層にアプローチできる企画を計画しており、Redmineをより一層盛り上げられるイベントにしたいと考えております。

Redmineは多機能で汎用的であるがゆえに、入門者にとってはまだ難しい側面もありますが、Redmineが持つ柔軟性は、近年のマネージメント・働き方の多様性にも対応できる『仕事改革』に適したツールと言えるでしょう。

昨年度に引き続き、本イベントがRedmineをより利用したくなるキッカケになればと願っております。

- REDMINE JAPAN 実行委員会 -

開催概要

昨年度「REDMINE JAPAN 2020」の概要

- 本編：2020年9月18日（金）10:00～17:30
- 会場：Remoカンファレンス（オンライン）
- 参加費：無料
- 参加人数：400名以上（当日参加者数）
- キーノートスピーチ：

①まつもと ゆきひろ氏



「Rubyにみる分散開発OSSコミュニティ」

②平鍋 健児氏

「withコロナ時代のアジャイルとコミュニケーション
～効果的な場作りとツール～」



■その他：

- ・運用系や事例系など様々なテーマで約20セッションの実施
- ・各スポンサー企業のバーチャルスポンサーブースを設置

今年度「REDMINE JAPAN vol.2」の概要

- 本編：2022年2月25日（金）
- 会場：未定（オンライン）
- 参加費：無料
- 予想参加者数：300名～500名
- 告知・集客：
 - ・申し込み：Connpass、Peatix
 - ・SNS：Facebook、Twitter
 - ・広告：昨年度よりもGoogle広告などオンラインによる広告を強化予定
- キーノートスピーチ：



和田卓人氏

タワーズ・クエスト株式会社
プログラマ、テスト駆動開発者



市谷聡啓氏

株式会社レッドジャーニー代表取締役社長
リコーDXエグゼクティブ

学生時代にソフトウェア工学を学び、オブジェクト指向分析/設計に傾倒。執筆活動や講演、ハンズオンイベントなどを通じてテスト駆動開発を広めようと努力している。
『プログラマが知るべき97のこと』(オライリージャパン、2010)監修。『SQLアンチパターン』(オライリージャパン、2013)監訳。『Engineers in VOYAGE』(ラムダノート、2020)編者。テストライブラリ power-assert-js 作者。

founder of DevLOVE、「リーン開発の現場」翻訳者、「カイゼン・ジャーニー」「正しいものを正しくつくる」著者

サービスや事業についてのアイデア段階の構想から、コンセプトを練り上げていく仮説検証とアジャイル開発の運営について経験が厚い。プログラマーからキャリアをスタートし、Sterでのプロジェクトマネジメント、大規模インターネットサービスのプロデューサー、アジャイル開発の実践を経て、自らの会社を立ち上げる。それぞれの局面から得られた実践知で、ソフトウェアの共創に辿り着くべく越境し続けている。

スポンサーメニュー

	Gold	Silver
金額（税抜）	30万円	15万円
募集枠	上限あり	上限あり
スポンサーセッション	キーノートスピーチ前後枠 5分	通常枠 5分
CM動画放送	30秒	15秒
公式サイトでの ロゴ掲載	大	小
公式サイトでの 紹介文	300文字	150文字
公式サイトでの リンク掲載	あり	あり

上限に達しました

残り3枠先着順

アンチハラスメントポリシー

Redmine Japanではアンチハラスメントポリシーを定めています。
イベントに参加するみなさんは以下のポリシーを遵守するように心がけてください。

当ポリシーの目的と適用範囲

当ポリシーは、イベントの参加者全員が楽しく、安全に集える場を維持するために策定されました。

「参加者全員が楽しく、安全に集える場を維持する」という目的には、「将来開催されるイベントについてもみなさんが不安や心配を感じることなく、気軽に参加できること」も含まれています。よって、当ポリシーはイベント会場内の発言や行動だけでなく、イベント終了後に発生した参加者同士のコミュニケーションや、SNS・ブログ等での情報発信（このイベントに関するもの）に対しても適用されます。

対象者

イベントに関わる人たちは誰もが対象です。よって、当ポリシーはRedmine Japanのイベントに関わる、以下の全員が対象になります。

参加者、登壇者、スポンサー、運営スタッフ、当ポリシーでは、この全員をまとめて「参加者」と表現します。ですので、「参加者」の中には登壇者やスポンサー、運営スタッフも含まれる点にご注意ください。

ハラスメントの観点

ハラスメント（他人を困らせる行為や嫌がらせ）の観点には、以下のような例があります。

ジェンダー、性自認やジェンダー表現、性的指向、障がい、外見、身体的特徴、人種、民族、国籍、年齢、宗教、特定のツールや技術、プログラミング言語と、その愛好者またはコミュニティ。ただし、この観点はあくまで一例です。記載以外の観点であっても、参加者が不快、不安に感じる発言や行動はハラスメントとみなされます。

禁止行為

Redmine Japanでは上記の観点に対する、以下のような行為を禁止します。

攻撃的、非建設的、過剰に批判的な発言や揶揄（やゆ）、脅迫、ストーキング、つきまとい、不適切な身体的接触、性的な関心を引く行為（性的な画像の掲示や、性的なコスチュームの着用等）、ジェンダーを強く意識させるコンテキストで、特定の個人をほめたたえる行為、その他Redmine Japanスタッフがハラスメントである判断した行為。言うまでもありませんが、性的なハラスメントについては男性から女性に対してだけでなく、女性から男性に対するハラスメントも禁止です。

ハラスメントを受けたら、判断に迷ったら

ハラスメントを受けた場合、見かけた場合、もしくはハラスメントかどうか判断に迷った場合は、近くの運営スタッフに声をかけてください。

我々運営スタッフは、ハラスメントに直面している参加者の心理的、身体的な安全を、全力で確保するように努めます。

また、ハラスメント行為をやめるように要請された参加者は、運営スタッフの指示に直ちに從ってください。

さいごに

当ポリシーは禁止事項を増やして、みなさんの自由を制限するために策定されたわけではありません。

私たちは運営スタッフは次のような思いで当ポリシーを策定しました。

参加者のみなさんが笑顔で帰ってほしい

不安な気持ちやモヤモヤした感情を抱えることなく、素直に「また来たい」と思ってもらいたい

わざわざ厳格なルールを定めなくとも、参加者ひとりひとりが「ちょっとだけ、相手の立場や気持ちを想像してみることを心がければ、上記の願いは容易に叶えられるはずですよ。

誰もが気軽に参加しやすいイベントを維持するために、みなさんのご理解とご協力をよろしくお願ひします。

問い合わせ先：REDMINE JAPAN 実行委員会 (redmine.japan.org@gmail.com)

お申し込み

REDMINE JAPAN vol.2 スポンサーへ
お申し込みいただく際には下記のURLより
必要情報をご記入の上、送信をお願いします。
担当者よりご連絡させていただきます。

【申込フォーム】

<https://forms.gle/cChhFzRGkhTfvHkh9>

※申込確定後のキャンセルやプラン変更に
つきましては原則としてお受けしておりません。

お問い合わせ先

REDMINE JAPAN 実行委員会
redmine.japan.org@gmail.com